

令和 8 年度の協議会での検討事項等に関するアンケート調査結果

1. 調査の概要

令和 8 年度の大規模災害廃棄物対策九州ブロック協議会（以下、「協議会」）における検討事項、活動内容等の参考とするため、協議会構成員にアンケート調査を行いました。調査は令和 7 年 12 月 1 日～12 日にかけて、Microsoft Forms を用いたアンケート形式（選択式及び記述式）により実施しました。

2. 調査内容・結果のまとめ

1) 今年度の活動のうち、次年度以降も継続して実施してほしい・参加したいもの

今年度、九州ブロック協議会に関連する活動として構成員の皆様にご参加いただいた・ご参加いただく予定のものについて、次年度も継続して実施してほしい・参加したいとお考えのものを選択してください（複数回答可）。

【選択肢】

- 情報伝達訓練（行動計画の検証や実践）及びこれに係るワークショップ（情報伝達訓練の振り返り・簡易マッチングの実践）
 ○災害廃棄物仮置場の設置・運営訓練 ○災害廃棄物に関する人材育成研修会 ○特になし

今年度の協議会の活動のうち、次年度も継続して実施してほしい・参加したいものとしては、「災害廃棄物仮置場の設置・運営訓練」（18 件）が最も多く、次いで「情報伝達訓練及びワークショップ」、「災害廃棄物に関する人材育成研修会」（ともに 16 件）の回答がありました。

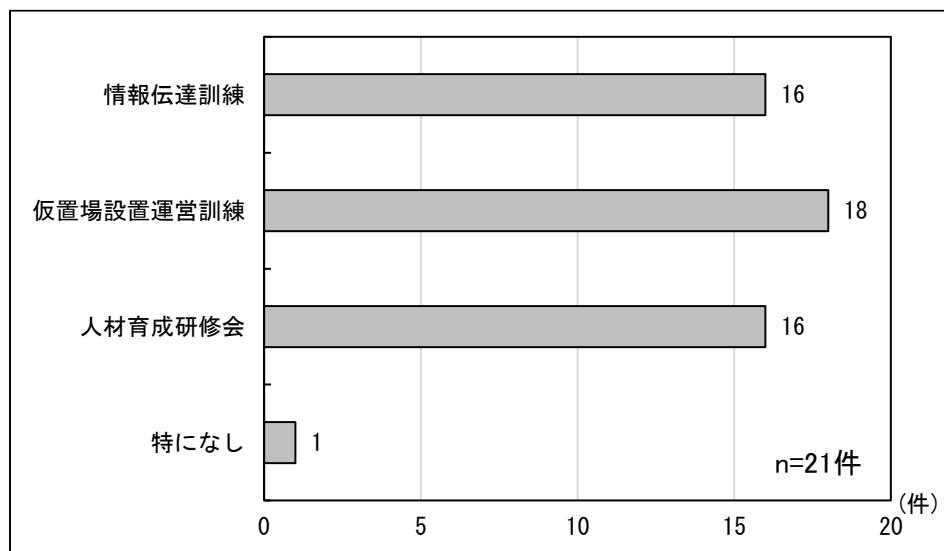


図 1 次年度も継続して実施してほしい・参加したいもの（複数回答可）

2) 次年度に実施してほしい訓練・研修等

前問に示した活動以外で、次年度の協議会で実施してほしい訓練・研修等がありましたらご記入ください。

今年度実施した活動以外に、次年度に実施してほしい訓練・研修等について尋ねた結果、下記のような回答が挙げられました。仮置場の設置・運営に関する訓練を経験したことで、設置・運営以外の訓練（発災直後から仮置場の設置に至るまでの行動など）を希望する回答が挙げられました。

- ・初動 24 時間シミュレーション訓練。災害発生直後に何を優先すべきかをロールプレイ形式で学ぶ。時間設定は仮の数字ですが、発災直後から仮置場の設置までを目安に、シミュレーションができればと思います。
- ・発災後の仮置場設置以外の行動訓練（業者との連絡、契約事務など）
- ・自治体の災害廃棄物対策も徐々にバージョンアップしていけるよう、常に新しい情報や重要な情報を提供していただけるとありがたい。

3) 次年度の活動に対する希望

次年度のブロック協議会での活動に対するご希望（学びたいこと、欲しい情報、欲しい資料、議論したいこと、相談したいことなど）がありましたら、具体的にご記入ください。

次年度のブロック協議会での活動に対する希望として、以下の回答が挙げられました。

補助金に関すること、九州以外の他ブロックでの訓練の情報共有や、片付けごみの回収・し尿収集などの仮置場以外の災害時の対応についても情報共有を望む回答が挙げられました。

- ・公費解体の運用方法や判断基準、先進自治体の具体的な手続きフローなどの情報を共有いただきたいです。
- ・他ブロックや他地域の都道府県・中核市・市町村等で実施されている訓練について、手に入るなら情報が欲しい。
- ・学びたいこと：補助金の申請事例（見積書の取り方、どのような費用で申請しているのか、申請額と査定額で差が大きいものはどのようなものがあるか）
- ・仮置場対応に焦点が当たりがちだが、片付けごみ回収戦略、し尿対応等についても、有益な情報をいただきたい。
- ・補助金取扱上の留意点（担当者が事前に把握しておくべき事項）
- ・災害種別ごとの災害廃棄物発生量の推計方法に関する研修を実施してほしい。

4) 情報伝達訓練及び訓練の振り返りの開催形式について

情報伝達訓練について、今年度は情報伝達訓練をオンライン形式にて令和 7 年 10 月 16 日に実施し、訓練の振り返り及び支援・受援の簡易マッチングを集合形式にて 10 月 28 日に実施しました。次年度も情報伝達訓練及び訓練の振り返り等を開催する場合、開催形式として最もお考えに近いものを選択してください。

【選択肢】

- 今年度と同様がよい（情報伝達訓練：オンライン形式、訓練の振り返り等：集合形式による開催）
- 情報伝達訓練・訓練の振り返り等ともに集合形式による開催がよい
- 情報伝達訓練・訓練の振り返り等ともにオンライン形式による開催がよい
- その他

次年度も情報伝達訓練及び訓練の振り返りを開催する場合、希望する開催形式としては「今年度と同様が良い（情報伝達訓練：オンライン形式、訓練の振り返り等：集合形式による開催）」（14件、66.7%）が最も多い回答でした。「その他」（2件、9.5%）の回答では、「参加していない」のほか、「情報伝達訓練と訓練の振り返りは同日または翌日に実施した方が、効果が高いのではないか。」とご指摘がありました。

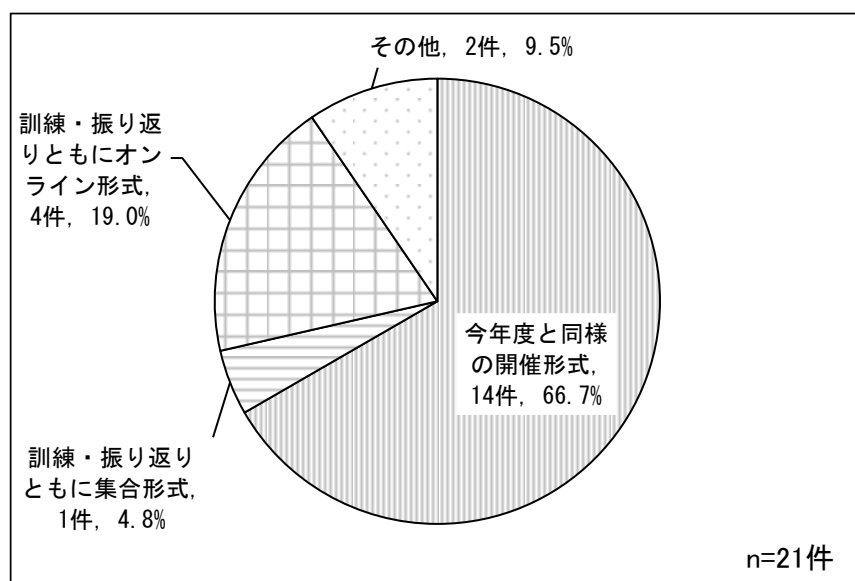


図2 希望する開催形式（情報伝達訓練・訓練の振り返り）

5) 人材育成研修会のプログラム内容として希望するものについて

災害廃棄物に関する人材育成研修会について、今年度はオンライン形式にて令和8年1月21日に開催予定です。

次年度も人材育成研修会を開催する場合、プログラムの内容として希望するものについて以下の選択肢から選択してください（複数回答可）。

【選択肢】

- 災害の被災経験をもつ自治体職員からの情報提供（経験談など）
- 災害廃棄物処理に関する行政手続きについて（公費解体・補助金活用など）
- 災害廃棄物に関する基礎的な内容（災害廃棄物の性状、仮置場の設置・運営に関する知識など）
- 近年の災害事例について（災害廃棄物の発生状況、課題点など）
- 人材バンクによる支援経験者からの情報提供（経験談など）
- 災害廃棄物処理に関する国の取り組みについて
- 災害に関わらず、廃棄物処理に関する基礎的な内容（廃棄物の種類、廃棄物処理施設の種類・仕組みなど）
- 有識者による研究事例
- その他

人材育成研修会のプログラム内容について希望するものを尋ねたところ、「災害廃棄物に関する基礎的な内容（災害廃棄物の性状、仮置場の設置・運営に関する知識など）」（17件）が最も多く、次いで、「災害廃棄物処理に関する行政手続きについて（公費解体・補助金活用など）」（16件）、「災害の被災経験をもつ自治体職員からの情報提供（経験談など）」、「近年の災害事例について（災害廃棄物の発生状況、課題点など）」（ともに14件）の順で多く挙げられました。

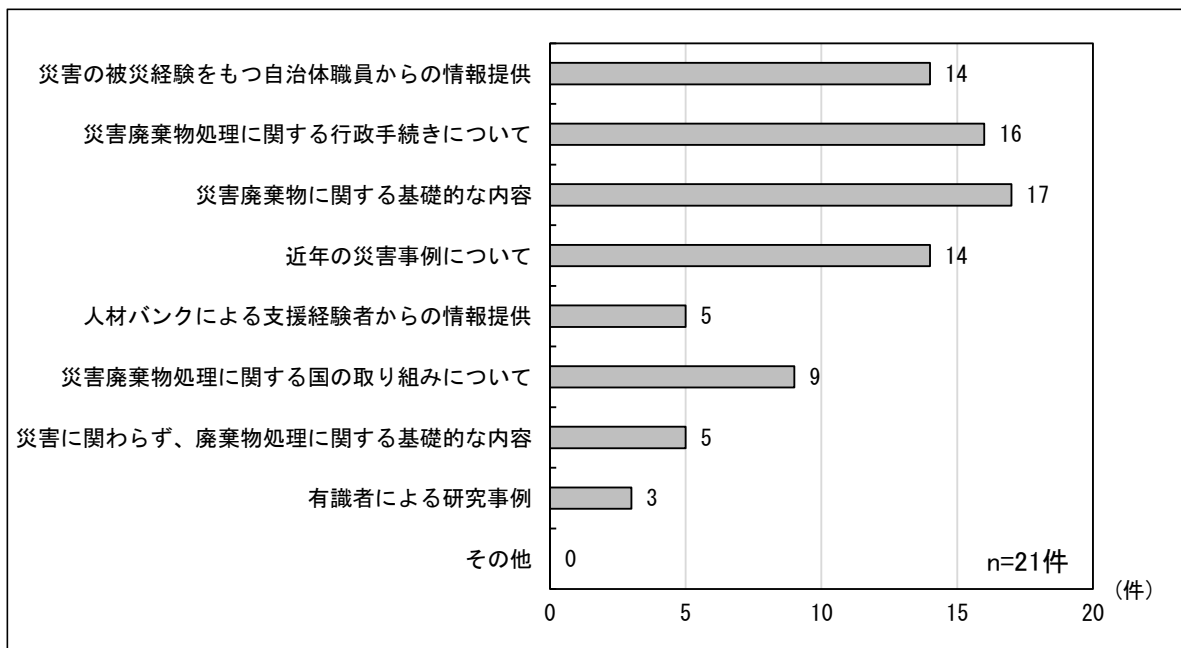


図4 人材育成研修会のプログラム内容として希望するものについて（複数回答可）

6) 人材育成研修会の開催形式について

災害廃棄物処理に関する人材育成研修会について、次年度も開催する場合、開催形式として最もお考えに近いものを選択してください。

【選択肢】

オンライン形式（今年度と同様）が良い 集合形式が良い その他

次年度も人材育成研修会を開催する場合、希望する開催形式としては「オンライン形式（今年度と同様）が良い」（19件、90.5%）が最も多い回答でした。「その他」（1件、4.8%）では、「講師や支援経験者に直接質問をしたり、気軽に情報交換ができる機会になるのであれば、開催形式はこだわらない」と回答がありました。

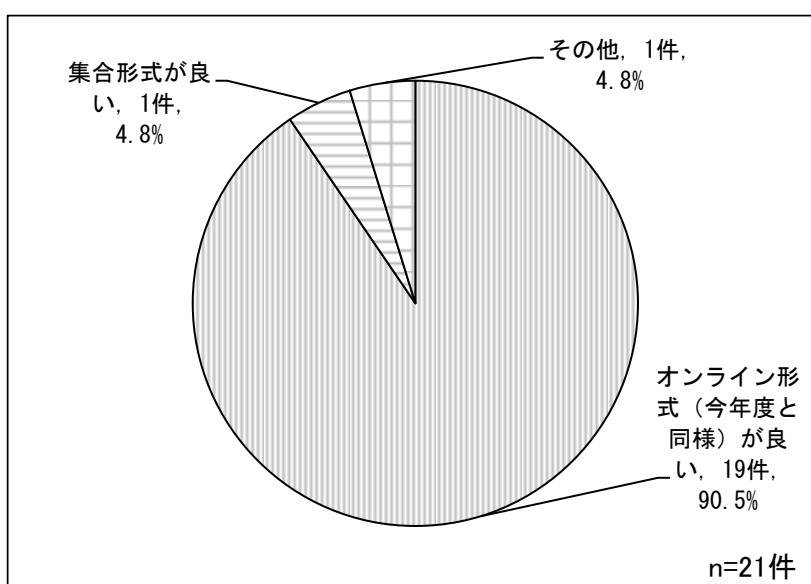


図5 人材育成研修会の開催形式について

7) 災害廃棄物仮置場訓練の映像資料の取り扱いについて

第 21 回協議会（令和 7 年 7 月 30 日開催）において、仮置場設置運営訓練の動画撮影に関する御要望がございました。

貴団体内で研修等を行う際の資料として活用される場合、どのような映像資料があると良いと思われるか、最もお考えに近いものをご回答ください。

【選択肢】

- 訓練状況の映像（開始から終了までのフルサイズ）
- 訓練状況の映像（5～10 分程度のダイジェスト版）
- 解説のテロップを追加した映像（仮置場設置時の留意点、受付対応時のポイントなど）
- 有識者・事業者団体の御講評内容がわかる映像
- 入場～退場までの一連の動きがわかる映像（定点観測）

仮置場設置運営訓練の動画撮影に関して、研修等へ活用する場合、どのような映像資料があると良いか尋ねたところ、「解説のテロップを追加した映像（仮置場設置時の留意点、受付対応時のポイントなど）」（13 件、65.0%）が最も多く、次いで「訓練状況の映像（5～10 分程度のダイジェスト版）」（4 件、20.0%）の回答が挙げられました。

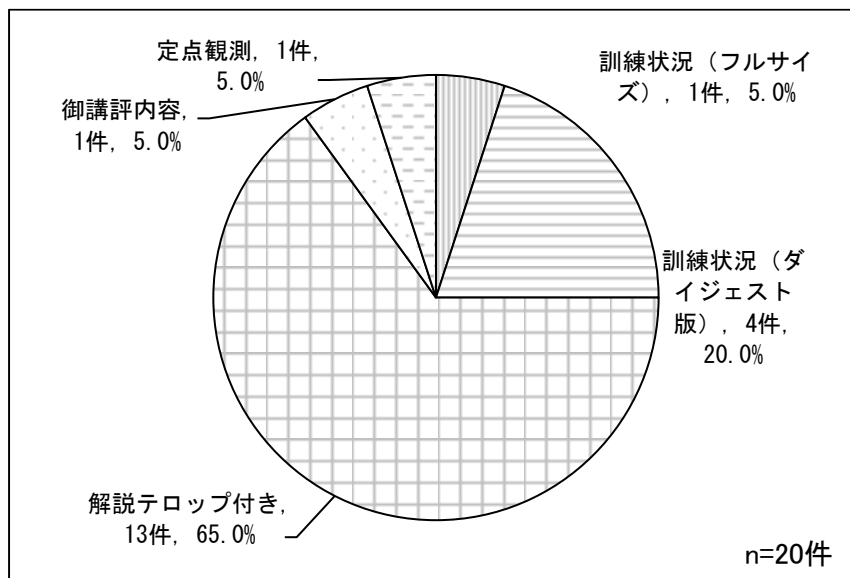


図 6 映像資料について

前問で回答された映像資料以外で、どのような映像資料があると良いと思われるか、ご回答ください。

また、「前問の選択肢以外でどのような映像資料があると良いと思われるか」という設問に対しては、回答はありませんでした。

8) 災害廃棄物仮置場の設置運営訓練の開催意向

今後、環境省九州地方環境事務所におきましては、下記2種の災害廃棄物仮置場設置運営訓練事業への支援を計画しております。

事業① 九州ブロック協議会事業の一環としての仮置場設置運営訓練事業

主催：環境省九州地方環境事務所

開催地：協議会構成員のうち、開催を希望する市または開催を希望する県が調整した県内市町村

開催会場：開催地の市町村からの提案を基本とする（実際の仮置場候補地が望ましい）

主な参加者：協議会構成員、開催市町村職員、開催県の事業者団体

実施内容：仮置場設置運営訓練及びワークショップ

費用負担：九州ブロック協議会事業の委託経費の中で支出

事業② 県主催の仮置場設置運営訓練事業

主催：事業に応募し採択された県

開催地：採択された県が調整した県内市町村

開催会場：開催地の市町村からの提案を基本とする（実際の仮置場候補地が望ましい）

主な参加者：採択された県の職員、開催県内の市町村職員、開催県内の事業者団体

実施内容：仮置場設置運営訓練及びワークショップ

費用負担：環境省九州地方環境事務所

各事業について、以下の設問にご回答ください。

（1）県・市の構成員の方のみご回答ください。

事業①について、貴自治体にて開催したい、というご意向はありますでしょうか。

【選択肢】

（貴自治体で）開催したい

（貴自治体での開催を）特に希望しない

（2）県の構成員の方のみご回答ください。

事業②について、貴県にて開催したいというご意向はありますでしょうか。

【選択肢】

（貴県で）開催したい

（貴県での開催を）特に希望しない

（3）事業①②のいずれか、または両方の開催を希望される方にお尋ねします。

実施内容について、具体的なお要望がありましたらご回答ください。

本調査では、事業①（ブロック協議会活動の一環としての訓練事業）、事業②（県主催による訓練事業）の2つの事業について、県及び市の構成員に対して災害廃棄物仮置場の設置・運営訓練の開催意向について尋ねました。

事業①（ブロック協議会活動の一環としての訓練事業）については、「開催したい」という回答が2件ありました。

また、事業②（県主催による訓練事業）については、「開催したい」という回答が5件ありました。

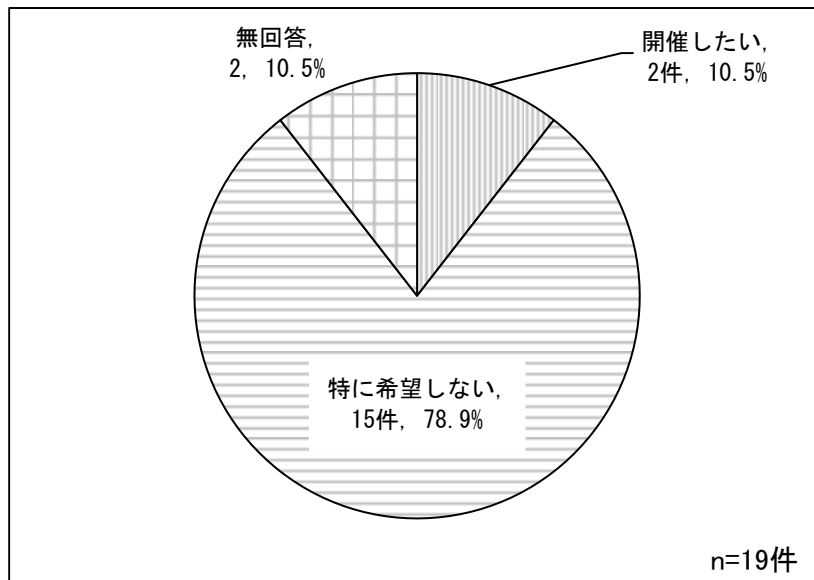


図7 災害廃棄物仮置場設置・運営訓練の開催意向（事業①）

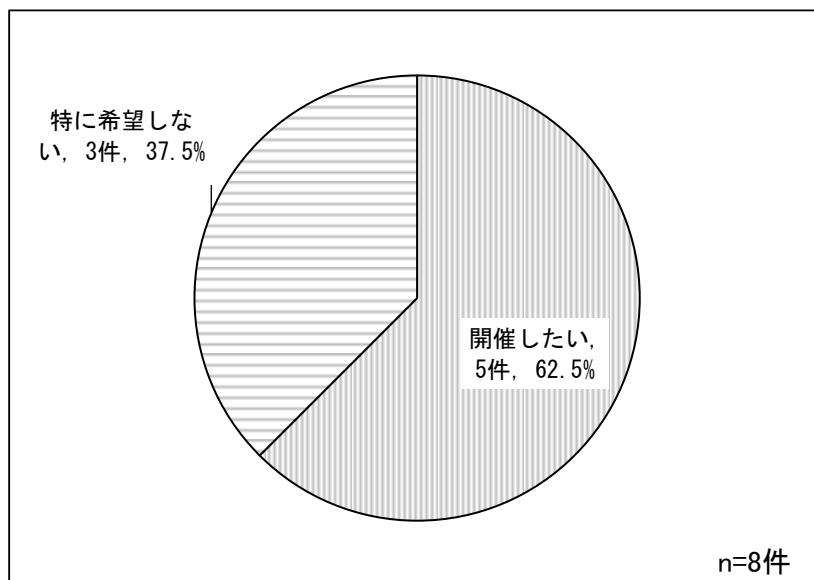


図8 災害廃棄物仮置場設置・運営訓練の開催意向（事業②）

3. 次年度の協議会の活動に関する提案

本アンケート調査結果及び今年度の協議会活動にていただいたご意見等を踏まえ、次年度の協議会の活動については、以下のとおり検討してまいります。

1) 災害廃棄物仮置場の設置・運営訓練

本アンケート調査結果より、今年度実施した活動のうち次年度も実施してほしい・参加したいものとして「災害廃棄物仮置場の設置・運営訓練」が最も多く挙げられたことから、同様の訓練の開催を検討してまいります。

開催形式については、今年度と同様に実地訓練及びワークショップとし、ワークショップでは訓練の振り返りを参加者に行っていただくことを想定します。

2) 情報伝達訓練及び振り返り

本アンケート調査結果より、次年度も実施してほしい・参加したいものとして「災害廃棄物仮置場の設置・運営訓練」に次いで多くの回答がありました。開催形式については本アンケート調査結果を踏まえ、今年度（情報伝達訓練：オンライン形式、振り返り：集合形式）と同様に行うことを検討してまいります。

3) 人材育成研修会

災害廃棄物に関する人材育成研修会については、今年度と同様にオンライン形式での開催を検討してまいります。研修プログラムについては、本アンケート調査結果や、1月21日開催の研修会参加者へのアンケート結果を基に、内容を検討してまいります。